

2022.10.08

【開催報告】

Peace Now! Hiroshima 2022

概要

日程：2022年9月1日(木)12:30~2日(金)17:00

場所：広島県広島市

参加者

北海道BK (1) ※代表派遣、埼玉大 (1)、
東京学芸大 (1)、十文字学園女子大 (2)、東京大 (1)、
愛知大 (3)、愛知教育大 (2)、岐阜大 (3)、
関西学院大 (1)、近畿大 (2)、奈良女子大 (2)、
立命館大 (1)、岡山大 (2)、島根大 (2)、
愛媛大 (1)、下関市立大 (1)、山口大 (1)、
徳島大 (1)、福山市立大 (2)、北九州市立大 (1)、
長崎県立佐世保校 (1)、現地実行委員 (7)、
ブロック (10)、連合会 (4)

計21会員53名 (運営含む)



セミナー獲得目標

1. ヒロシマを生きた先人に想いを馳せて、
五感を使って過去を見つめる。
2. 参加者同士の対話を通して、
「目指したい社会」に向けて出来ることを考える。
3. 自分が「平和のバトン」を繋いでいく存在
であることを理解し、平和の大切さを広げていく。

01 「ヒロシマで」学ぶ

【開会式】3年ぶりの広島対面開催！

今年のPeaceNow!Hiroshimaは、3年ぶりの対面開催となりました。実行委員一同も、「ヒロシマで学ぶ」という点を特に意識しながら企画の準備を進めてきました。開会式では、参加者の皆さんにこの2日間を通して、どのようなことを学んで欲しいのか・経験して欲しいのか提起がありました。また、アイスブレイクを通して全国から集まった参加者同士が交流し、打ち解ける時間となりました。



実際に自分の目で見ることで感じるものがありました。対面での実施ありがとうございます。

02 ヒロシマを生きた先人に 想いを馳せる

【企画2】平和記念資料館見学

平和記念資料館の見学では、原爆が投下された当時の品や写真・絵などの展示品を見ることができました。参加者が特に印象に残ったのは「被爆者の方々の想い」についてでした。原爆によって人々の生活がどのように変化したのかを展示から学ぶことで、原爆や戦争の悲惨さを改めて考え直す機会となりました。



残っている当時の服などがとても印象に残っています。裂けたり、血や黒い雨の跡が残っていたりする服をみて、当時の悲惨さを感じました。

02 五感をつかって過去を 見つめる

【企画2】平和公園フィールドワーク

フィールドワークでは、平和公園とその周辺にある碑や建物を、実行委員のガイドとともに巡りました。現地に足を運んだからこそ分かる要素が多く、1つ1つの碑に込められた想いや、その背景を学ぶことで、平和について学び深める機会となりました。当日は雨の予報でしたが、無事フィールドワークを終えることができました◎



原爆ドームでは教科書からは伝わらない細かな鉄骨の歪みや崩れた瓦礫を見た。現地へ、直接見ることで平和の大切さを感じた。

03 被爆者から直接話を聞ける 最後の世代として

【企画3】被爆証言者田中さんの講話

被爆証言者の田中さんのご講演をお聞きしました。田中さんは話の中で、被爆者の方々は、当時だけでなく、その後の77年間ずっと苦しんでいることや、核兵器が廃絶されていないことを挙げ、「～すべき」という考え方から、それらを「いかに」実現していくかが大事だと伝えてくださいました。被爆者の方々の話を直接聞くことの出来る最後の世代として、私たちにどのような行動が求められているのか、参加者で考えるきっかけとなりました。

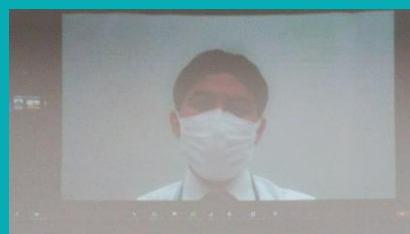


平和について考える際に「平和であるべき」ではなく「いかに平和にするか」、すなわちどうしたら実現可能なのかを考えるのが大事だということが分かった。

04 被爆者に寄り添い 被爆者の思いに共感する行動を

【企画4】平和活動をされている檜原さんの講話

広島県被爆体験伝承者である檜原泰一さんにオンラインにてご講演をいただきました。檜原さんが平和活動を行う「想い」についてお話いただき、「平和な社会を自分たちで創っていく」という意識をもつことの重要性を学びました。



檜原さんがおっしゃっていた「今の世の中より悪い世の中にはならないようにしよう。」というところはとても共感した。

05 過去を学ぶことの重要性

【企画5】過去グループ企画

過去グループ企画では、資料館見学やフィールドワークを通して、PNI!に参加する前と後でどのような心情の変化があったのか、またそれはなぜなのかに着目し、提起を行いました。「過去を学ぶこと」が平和な社会をつくっていくために重要であることを踏まえ、身近な地域の戦争遺構について調べ発表することを通して、過去に目をむける大切さを学びました。



歴史を学ぶ重要性を認識した。歴史を学びたい。そして同じ過ちを繰り返さぬようにしたい。

06 「今」を知り 「未来」を考える

【企画6】 現在グループ企画

現在グループ企画は、「現在の、世界や日本の社会」について学んだうえで、自分自身の「目指したい社会」を考え、グループのメンバーと交流する時間となりました。
「現状を正しく知る」が「目指したい社会」への第一歩であることを確認しました！
また、対面ということもあり、模造紙に付箋を出す形式でグループワークを行いました◎



過去の戦争の被害者が前よりも良くなったと思えるような社会を目指したいと思いました。

07 つなげよう、平和のバトン

【企画7】 未来グループ企画

未来グループ企画では、「平和の大切さをひろげていく」ことに着目し、現在グループ企画で考えた「目指したい社会」を実現するために、「どのような行動が必要か」を考えました！また、考えた行動を、自分で折った折り鶴に書き込み、参加者には持ち帰ってもらいました！
また、曲の歌詞が、今年のPN!全体テーマのもととなった、合唱曲「折り鶴」を参加者全員で聴きました◎



「誰もが声を上げられる社会」を目指すには相手の意見に耳を傾け、受け入れることが重要だと考えます。

08 私たちの力は 微力だけど、無力じゃない

【閉会式】

閉会式では、企画局長から2日間の企画の振り返りと、参加者に向けたメッセージが提起されました。
PN!が終了しても、「むしろここからがスタート」です。
ヒロシマで平和について学んだ参加者が行動を起こし、他の誰かが平和について考えるきっかけになる。これらのきっかけや想いがつながることで平和の輪も大きくなっていきます！！



今でも原爆で苦しんでいる人を僕たちは忘れてはいけない、その人たちの想いを後世に伝えていかないとはいけません。

+A つなぎ、ひろげる未来へのバトン ～わたしからあなたへ、あなたから世界へ～

実行委員長：まさみちからのメッセージ

PN!Hとしては3年ぶりの対面開催となりましたが、皆様のご協力を頂いたおかげで、無事2日間のセミナーを終えることができました、ありがとうございました。
2日間で学んだことを、まずは身近な誰かに伝えてみてください。
キーワードは「対話」です！
参加者のみなさんから、未来へのバトンが繋がりを、ひろがっていくことを楽しみにしています！



だからこそ「行動」してほしい！

私たちの力は
微力だけど、**無力**じゃない

私たちの行動が、他の誰かのきっかけになる
これらのきっかけや想いがつながると、
平和の輪も大きくなる

対話することの可能性を信じて何事にも向き合うようにしたい

伝えたいこと③

ここでできた繋がりを大切に
(最後班ごとに写真撮ってね！📷)

大学生協の組合員はみんなが「仲間」です。

これからお互いに「学びあい・動かし合い」
「ともにつくり」「ともに成長し」
「平和とより良い生活」を
作り上げていきましょう！！

これからの未来をつくるのは私たちだ！！

まず、今回勉強したことを大学の生協の組合員の人に伝えようと思う。